

土山地域を中心に活動する朗読ボランティアサークル「つくしんぼ」のメンバーによって絵本や紙芝居などの読み聞かせが行われ、参加した小学生約20名が、熱心に聞き入っていました。

「絵本を通じて自然や思いやりの心を感じ取り、広い心を育んでほしい」と、身近な草花の本や落語を元にした紙芝居など8つの作品が紹介されました。

同館は、150年前に建てられた土山の民家を改装したもので子どもたちは一味違った雰囲気の中、お話しを楽しみました。



絵本に夢中になる子どもたち

東海道や土山宿の情報発信の拠点施設である東海道伝馬館を会場に、毎年恒例のお話しが3月27日に開催されました。

# 元気なまちかど

鮎河で140年培った歴史を市全体に 鮎河小学校創立140周年式典



スライドで振り返る140年の歴史

鮎河小学校の創立140周年記念式典が3月9日、同校で開かれ、児童や先生、地域の皆さんら約100名が参加しました。

同校は、明治に変わって6年後の1873年に養生学校として誕生し、市内で最古の小学校として地域の子どもたちを育んできました。一時期200名を超えた児童は、今や24名まで減少してしまいましたが、地元に着した少人数の教育で地域に愛される存在になっています。

今年度からは、市内全域から就学が可能な「特認校」として指定され、長い歴史で培った伝統を多くの子どもたちに提供していきます。

## 宮城県石巻工業高校野球部が練習試合



国際情報高校と対戦する石巻工業高校

宮城県石巻工業高校野球部と地元高校との練習試合が3月28日、水口スポーツの森甲賀市民スタジアムで開催されました。

同校は、東日本大震災で受けた被害を乗り越え、昨年の第84回選抜高校野球大会に出場を果たしました。

甲子園での本番を控え、昨年3月17日に予定されていた練習試合が、天候のため中止となったことから、一年越しの実現となりました。水口東高校と国際情報高校がそれぞれ対戦し、小雨が降る中、真剣なプレーが繰り広げられ、どちらも石巻工業高校が勝利しました。

石巻工業高校の松本監督は「素晴らしい施設なので、ぜひもう一度来たい」と話していた。来年からも交流を続けたいと話していました。

## 「忍者のまち」甲賀の魅力を発信

新名神高速道路活用による甲賀市地域活性化促進事業「日本の元気を「心」でつなぐ あいこうか」

「甲賀忍者音頭」を披露する土山にこここ園の児童



新名神高速道路開通5周年を記念したイベントが3月20日、土山サービスエリアと甲南パーキングエリアの2会場で開催されました。

市では、新名神を活用したまちづくりに取り組んでいます。このイベントは、市の魅力の発信につなげようと開催したもので、当日は市内外からの多くのの方でにぎわいました。

メイン会場の土山SAでは、和太鼓演奏などのステージイベントや特産品の販売が行われたほか、地元の食材を使用した「忍者鍋」が振る舞われ、長蛇の列ができました。

また、土山にこここ園の子どもたちによって「甲賀忍者音頭」が初披露され、「忍者のまち」をPRしました。

## 手作りマップで野鳥観察スポットを案内

甲南第三小学校・学校周辺野鳥観察ボランティア



中庭で見られる野鳥を案内

環境学習の一環として愛鳥活動を行っている甲南第三小学校では、6年生が野鳥観察スポットなどを紹介したマップを作成し、先ごろ完成しました。

宮地区の魅力により多くの人に知ってもらおうと、このほどこのマップを活用し、観光客や地域の方などを対象に学校周辺で見られる野鳥の案内を始めた。

案内では、5、6年生が普段の活動の紹介を交えながら様々な情報を教えてくれます。初めて観察ボランティアとして案内した児童は「緊張したけど、色んなお客さんに来てほしい」と意気込みを話しました。

## 雅の時代へ思いを馳せて

甲賀市あいの土山斎王群行

天皇の即位ごとに都から伊勢神宮に送られた斎王の行列の様子を再現した「あいの土山斎王群行」が3月24日、土山町で行われました。

地域や実行委員会によって開催されるこの群行は、今回で16回目を数え、春の訪れを告げる当市の風物詩となっています。

十二単姿の斎王役・鈴木愛さんをはじめ約80名の二行が大野小学校から垂水頓宮跡までの約3キロを練り歩きました。

休憩所では童女役などによる道中舞が披露され、見物客の皆さんは、いにしへの華麗な群行に思いを馳せていました。

童女による雅やかな道中舞



申し込み先 ※案内は、事前予約が必要です。甲南第三小学校 ☎86-2038